



泉っ子だより

みがきあい
じぶんいろに
ひかり、かがやく 泉っ子



令和2年 10月19日 33号

5年生 お米になるまでを体験中

5年生は、総合的な学習の時間で米作りについて学習することになっています。しかし、今年度はコロナ事情から行橋高校との田植えや稲刈りができないということからバケツで稲を育てることにしました。

6月5日(金)・8日(月)、バケツに稲の苗を植えました。天気が続くと水をやり、雨が続くと水を抜き、稲が育つと中干し、その後水をやります。そして、稲はどんどん育っていきました。10月に入ってから稲刈りをし、粃が適度な水分になるように乾燥してから、脱穀、粃すり、精米とお米になるまでの作業をします。

まず、脱穀です。刈り取り乾燥した稲穂から粃だけにします。手袋をしたり、割り箸で穂先を挟んだりしながら穂先から粃だけを探ります。一班(4人)にバケツ一つですが、右の写真(ビニール袋に入ったもの)のように思った以上に収穫は少ないものでした。それでも子どもたちは大喜びです。

次に、粃すりです。稲穂から採った粃から、粃殻を取り除きます。調べてみると、すり鉢・すりこぎですると粃殻がとれるということでしたが、やってみると力の入れすぎですりこぎま状態です。力加減がとても大切であることがわかりました。また、ゴムボールを使うとほどよい弾力があり、結構うまくいきました。右の写真が粃すりを終え、玄米になったお米です。右の写真が各班ごとにカップに入れたもので、その下の写真が一班分です。一つのバケツからとれたお米(玄米)の量はごくわずかですが、子どもたちは大変貴重な体験をしたと思います。私たちが食べる茶碗一杯のお米を作ることがどれほど大変なことかが身にしみてわかったようです。

この後、玄米を白米にするための精米の作業が残っています。精米は玄米から米ぬかを取り除くことです。すり鉢では米粒がつぶれてしまうため、玄米をビンに入れて棒を上下することで精米するそうです。

9月14日(月)に、行橋高校の先生方や生徒のみなさんと稲刈りをしましたが、今年度は田植えがなかったために行橋高校が、ぜひ稲刈りは体験させてあげたいという心遣いからです。今年の5年生は、手作りの米作りと機械化された米作りを体験するという今までにない米作りの学習ができました。学習のまとめがとても楽しみです。



修学旅行説明会 実施しました <10/16>

10月16日(金)、6校時に本校体育館で修学旅行説明会を実施しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で修学旅行の実施が危ぶまれていましたが、感染症対策や感染した場合の保護者の迎え等を考慮し、行き先を変更することで実施することとなりました。

本年度は、朝倉郡筑前町の「大刀洗平和記念館」、佐賀県神埼郡の「吉野ヶ里歴史公園」、大分県別府市の「城島高原パーク」、大分県大分市の「うみたまご」に行くことになりました。

新型コロナウイルス感染症の感染対策としては、

- ①バスを4台から6台に増やすことで、車内での座席にゆとりを持たせ、バスの中が密集状態にならないようにします。
- ②バス内の換気を行うように1時間程度で休憩を取り、換気に努めます。
- ③見学施設は人数を制限しながら入場・見学をし、可能な限り密集状態にならないようにします。
- ④ホテルの部屋数を増やし、定員より少ない人数で部屋割りをします。
- ⑤ホテルの風呂は時間を決めて人数制限をし、入れ替わりの度に脱衣所、浴室の消毒をします。

※修学旅行前後の健康管理、旅行中のマスク・手洗い等につきましては、学校でも指導しますが、各ご家庭におきましてもご指導をお願いします。

本校は児童数が多いために、見学場所や昼食場所、宿泊施設等、条件が合わないことも多々ありましたが、歴史学習、平和学習、公共施設でのルールやマナーの学習、仲間づくりというこれまでの修学旅行の目的を踏襲するように検討を重ね計画をたて、説明会で伝えました旅行行程や感染対策で実施することになりました。

本年度は、この行程、この内容で実施いたします。ご理解とご協力をよろしくをお願いします。



季節は秋になりました

朝夕はさわやかというよりも肌寒さを感じるようになりました。学校の木々や草花も少し様子が変わってきています。

玄関前のマリーゴールドや百日草が夏の終わりを告げるように咲き誇っています。そして、肌寒さを感じるようになり、待ってましたとばかりに金木犀が香りを自己主張しています。短いこの時期を楽しみたいと思っています。

